第６章

明日を拓（ひら）くしくみをつくろう

～効率的・効果的な行財政システムづくり～

にゃ～リック
（ 名前の由来：パブリック ）

第6章

1.効率的な行財政運営の推進

施策 1

行政改革の推進

- 社会情勢や多様な行政需要に応じた柔軟な組織体制の構築
- テレワーク*環境の推進
- 統合型マネジメントシステムによる事務事業の改善
- 自治体クラウドの推進
- 公共施設の最適化

現　状

社会情勢の変化に柔軟に対応できる組織体制のもと、自治体クラウドのシステム共同化による割り勘効果やアウトソーシングによる業務の効率化を図り、最小の経費で最大の効果を発揮するための行政改革を推進しています。

課　題

多様な行政需要の変化や働き方改革等の社会情勢により、事務事業の見直しや業務の効率化はもとより、近年の感染症流行によるリスクに対し業務を継続できる環境の整備が必要です。

施策 2

地方分権化に対応した人材の育成

- 研修制度の充実による業務能力の向上
- 育成人事考課制度による人材育成の向上

現　状

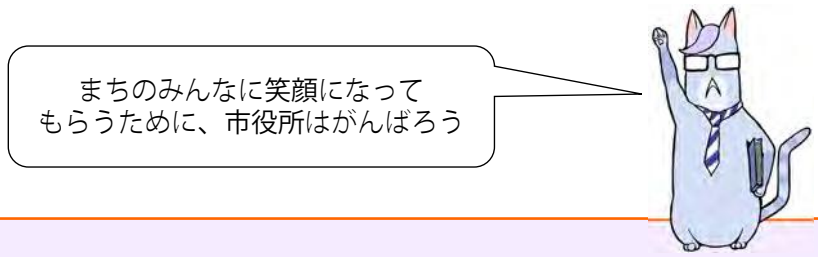
地方分権による権限や財源の移譲に伴い、専門的な知識を習得し行政サービスを行っています。また、各地域まちづくり協議会には、地域担当職員が配置されており、市民協働による地方創生が進められています。

課　題

質の高い行政サービスを提供するためにはＥＢＰＭ*に基づく課題の発見、政策立案の手法等職員の意識と能力の向上が必要です。また、若い職員が地域に飛び出し、地域と協働できる実践の場を提供することが必要です。

目標指標名	基準値（令和元年度）	目標値（令和７年度）
行政改革大綱実施計画の進捗割合	96%	100%
経常収支比率	89.3%	90.7%

【 施策に関連する個別計画 】湖南市行政改革大綱、湖南市公共施設等総合管理計画、湖南市長期財政計画、湖南市人材育成基本方針、職員研修計画、湖南市定員適正化計画、湖南市特定事業主行動計画、湖南市職員コンプライアンス推進指針、湖南市障がい者活躍推進計画



施策３

財政の健全化

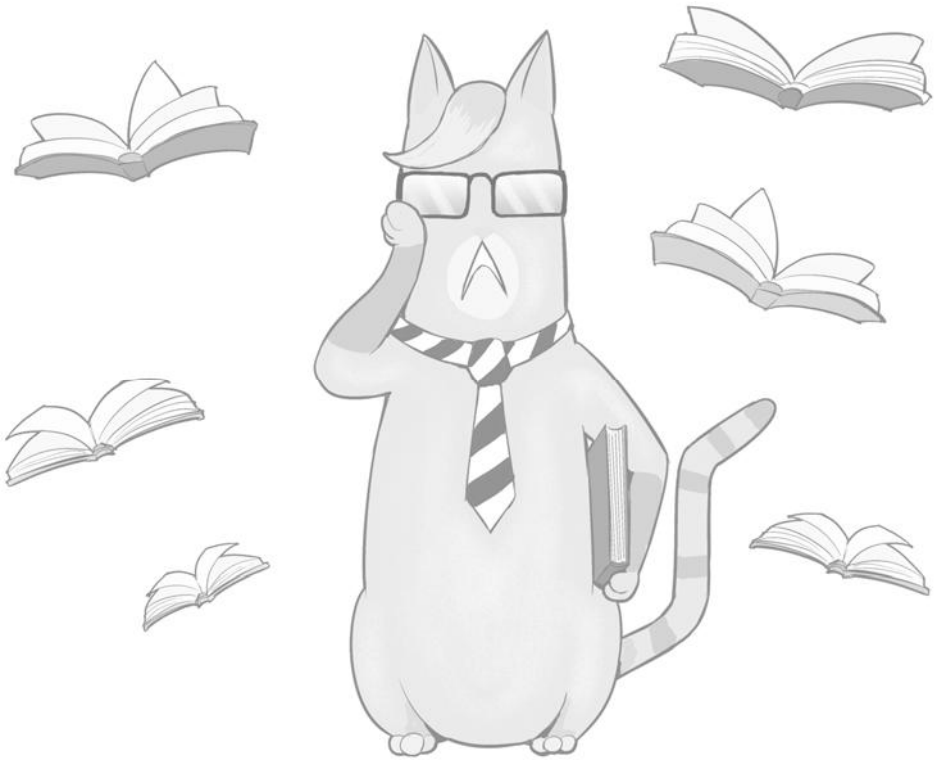
- 経常的経費の抑制や投資的事業の年度間調整等による財務改善の推進
- 未収債権への取組や新たな財源の確保
- 財政健全化判断比率や財務書類の公開による透明性の高い財政運営の推進

現　状

人口減少社会を迎え生産年齢人口の減少等により、歳入の根幹である市税収入の増収は見込めません。そのため、経費の削減や国県補助金等の財源確保に努めることにより財政の健全化を進めています。

課　題

限られた資源で持続可能な行政サービスを行うためには、安定的な財政基盤の構築と透明性の高い財政運営が必要です。



2.広域連携の推進

施策 1

近隣市町との連携の推進

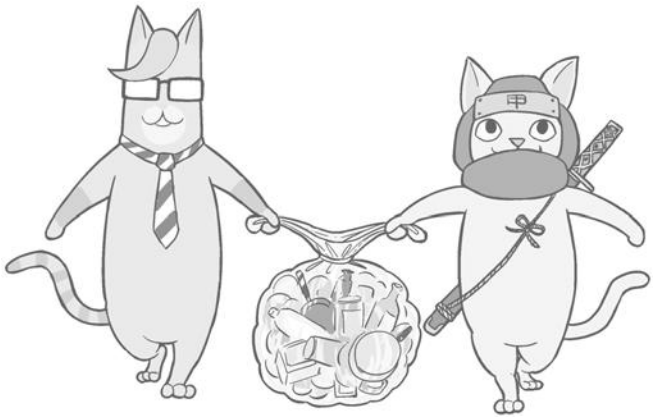
●甲賀広域行政組合、公立甲賀病院の効率的な経営の推進
●ＪＲ草津線複線化、広域道路整備、河川改修等の共通の行政課題に対する連携の推進
●自治体クラウドによる連携の推進
●新たな行政課題に対する広域自治の検討

現　状

湖南・甲賀の２市により広域行政組合や病院事業を効率的に運営しています。また、栗東・野洲・竜王・甲賀等の近隣・関係市町と共通する課題ごとに協議会を設置し、事業の共同実施や国・県等への要望活動を行っています。

課　題

近隣市町の共通課題を効率的に継続して取り組むとともに、社会情勢の変化による新たな行政課題に対して適切な枠組みを設計し、地方創生に求められる地域間連携が必要です。



目標指標名	基準値（令和元年度）	目標値（令和７年度）
行政情報システム共同利用実施割合	73%	91%

【 施策に関連する個別計画 】湖南市都市計画マスタープラン、湖南市立地適正化計画

1

2

3

4

5

6

1.4.消防訓練　2.3.6.甲賀広域行政組合（2.消防車両　3.衛生センター　6.公立甲賀病院）
5.忍者列車（滋賀県草津線複線化促進期成同盟会）